



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3669-0499  
 URL http://sef-jpn.org

**巻頭のことば「稼ぐ力」** **理事 眞鍋康雄**

早や春分が近づき、経済界の平成26年度業績見通しが新聞紙上に多く掲載される様になった。それらの記事の中に最近「稼ぐ」「稼ぐ力」の語句が多用されているのに気が付く。例えば某日、日経新聞朝刊の1面トップの見出しは「車・通信「稼ぐ力」でけん引」とあり、その記事の中に「稼ぐ」の文字が6か所もあった。「稼ぐ」は文字通り「家を養う」の意であるが、最近では貿易、産業、企業の経済活動で収益力を表す言葉に格上げされ、違和感なく使用されてきている。その事情の源は経産省で昨年4月発足の「日本の「稼ぐ力」創出研究会」にある様だ。その公開資料では、「創出研究会」発足時の時代背景そのままに、グローバルな競争下の中で企業のおかれた6重苦による収益低迷に相当の問題意識が示され、「収益力」を少々乱暴に「稼ぐ力」としたのもなづける状況であった。危機意識の中で培われた「稼ぐ力」の語句が、今や肯定的な結果と共に使用されて来ている。円安や構造改革によって、我が国内外の「稼ぐ力」も相当改善されてきた様である。

**2月度(第140回)理事会報告(2月25日)**

- |                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 平成27年度事業部会別運営方針(案)→審議・継続   | 4. 平成27年度事務所賃貸料の件→審議・承認      |
| 2. 受託業務収入配分規定覚書の見直し→審議・承認     | 5. 平成27年度理事検討会議事録→報告・了承      |
| 3. 平成27年度事務局関連業務委託費について→審議・承認 | 6. 平成27年度SEF年間スケジュールの件→報告・了承 |
|                               | 7. 平成27年1月度会計報告→報告・了承        |
|                               | 8. 平成27年度決算見込報告→報告・了承        |

**事業報告 : 事務局報告「意見交換会報告」** **担当理事 丹治直昭**

2月25日理事会後に会員意見交換会を開催しました。今回は14名の正会員の方々の出席を頂きました。近年硬直化して来たと言われるSEF活動に活力を取り戻す為は何をすべきか、真剣な討論が行われました。と言っても、今回は、軽食を取りながらの議論。和気藹々とした雰囲気の中で、活発な意見交換がなされました。

会員数は寧ろ増えているが、高齢化により実働会員数が大きく減少している事、企業の定年が65歳まで延長された事により定年後に入会する新入会員の年齢が上がっている事等など、と会員高齢化による活動の活性化低下の原因が議論されました。

では解決策は?? これと言った、結論は出ませんでした。先ずは現会員にもっと楽しんでいただけるような、又参加する意義を感じて頂けるような活動が必要。意見交換会を、名前を変えてでももっと楽しそうなものにするとか、もっと予算掛けてでも、サロンに参加し易くするとか、HPやSEFたよりをもっと分かり易く等、提案があり、4時間近くに亘っての意見交換となりました。事務局としても、この様な意見を踏まえ、理事会を中心にSEF活性化の為の施策を検討したいと考えます。

**SEFサロン 第87回 案内** **担当理事 白崎 善宏**

2月のSEFサロンはお休みで、次回のサロンは下記の通り3月に第87回を開催します。  
 日時:2015年3月24日(火)18時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェア」  
 (通常水曜日開催でしたが、今回に限り火曜日の開催です)

講師:大澤文護氏 千葉科学大学教授 元毎日新聞ソウル支局長  
 演題:「伝統文化体験で知った日韓相互理解の秘訣」

韓国で約7年を過ごされた大澤氏は「日本と韓国は一見類似点が多く、容易く相互理解できるという錯覚に陥りがちですが、実は決定的な相違点があるのです」と語られます。ソウル支局長在勤中に、韓国伝統舞踊を習い、韓国最大の劇場で開催された公演に出演した経験をおもちです。舞踊の修習を通して日韓の違いとその違いを埋めるヒントを探ります。日韓交流と真の相互理解のために必要なものとは? 体験談とともに、その秘訣を語って頂きます。今年は日韓国交正常化50周年に当たり、時宜に合った興味深いお話を拝聴できるこの機会に、皆様には是非参加されますよう、お誘い申し上げます。

**2月度会員動向**

会員入退会 変動無し	3月1日現在の会員数 正会員-28名 準会員-33名、賛助会員-3社
---------------	---------------------------------------